

大臣の視察と国会議員によるご視察を同時に行った事例(R2年6月1日以降直近まで)

※ 以下に記載した国会議員及びその同行者については、事前に把握していた時点での記載であり、当日参加したかどうか確認できていない場合もある。
 ※ 地方自治体等からの情報提供等により当日視察現場に訪れた国会議員・地方議員等は記載していない。
 ※ 国会議員及び国会議員同行者については、式典のみに出席した場合は除外している。

月日	案件名	視察先	同行した 国土交通省職員の氏名・役職	地元説明者等	同時に視察した 国会議員	国会議員の同行者・ 国会議員に同行したメディア関係者の社名
1 6月5日	虎ノ門ヒルズ駅開業前視察 (東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅)		大臣秘書官 大臣秘書官 大臣秘書官 都市局長 鉄道局長 官房技術審議官(鉄道) 都市鉄道政策課長 他	森ビル 社長 (独)都市再生機構東日本都市再生 本部長 他	衆議院 公明党 1名	
2 6月23日～25日	北九州空港視察等 九州新幹線等所管事業視察 観光関連意見交換会 長崎港視察	福岡県北九州市 大分県別府市、由布市 佐賀県武雄市、嬉野市 長崎県長崎市	大臣秘書官 大臣秘書官 総合政策局交通政策課長 水管理・国土保全局長 鉄道局長 鉄道事業課長 幹線鉄道課長 大臣官房技術審議官(海事) 大臣官房技術参事官(港湾) 航空局長 空港計画課長 観光庁次長 観光庁審議官 観光地域振興課長 九州地方整備局長 九州運輸局長 他	福岡県知事 北九州市長 長崎県知事 大分県知事 由布市長 日田市長 武雄市長 長崎市長 ツーリズム大分会長 大分県商工会議所連合会会長 嬉野市長 他	参議院 公明党 1名	
3 7月22日～23日	箱根登山鉄道運転再開記念式典出席等 (箱根登山鉄道運転再開記念式典出席等)	神奈川県小田原市、箱根町	大臣秘書官 鉄道局長 鉄道局施設課防災対策室長 観光庁観光地域振興部長 気象庁地震火山部長 関東運輸局長 他	神奈川県知事 箱根町長 他	衆議院 自民党 1名 参議院 公明党 2名	
4 7月23日～26日	白川町浸水箇所視察及び意見交換会 令和2年7月豪雨被災地視察 観光事業関連意見交換会	岐阜県白川町、下呂市	大臣秘書官 水管理・保全局長 道路局長 鉄道局長 観光庁次長 観光庁観光地域振興課長 中部地方整備局長 中部運輸局長 岐阜気象台長 他	岐阜県知事 白川市長 白川町長 (一社)下呂温泉観光協会会長 下呂温泉旅館協同組合 副理事長 他	衆議院 自民党 1名 参議院 自民党 1名 衆議院 公明党 1名 参議院 公明党 1名	岐阜県議 自民党 3名 岐阜県議 公明党 2名 下呂市議 無所属 1名 白川町議 無所属 1名
5 7月31日～8月2日	令和元年台風19号被災地視察等 東北中央自動車道開通式典出席 建設業意見交換会 小名浜港視察	福島県いわき市、郡山市、桑折町	大臣秘書官 大臣秘書官 技術審議官 不動産・建設経済局長 水管理・国土保全局長次長 道路局長 港湾局長 観光庁審議官 観光庁観光資源課長 東北地方整備局長 東北運輸局長 他	福島県土木部長 日本建設業連合会東北支部長、(一社)いわき観光まちづくりビューロー副会長、郡山市長他	参議院 公明党 1名	

6	8月3日	新幹線バリアフリー実証実験視察 (新幹線における車椅子用フリースペースの実証実験)	東京都品川区	総合政策局次長 鉄道局長 技術審議官 鉄道局技術企画課長 他	東海旅客鉄道副社長、認定 NPOhoujinnDPI日本会議 事務局長	衆議院 公明党 1名 参議院 公明党 2名	
7	8月4日	成田空港視察及び献花 (成田空港視察)	千葉県成田市	大臣秘書官 航空局長 航空ネットワーク部首都圏空港課成田国際空港企画室長 航空局安全部安全企画課航空保安対策室長 他	成田国際空港(株)代表取締役社長 他	衆議院 公明党 1名	千葉県議 公明党 1名 成田市議 公明党 3名
8	9月12日～13日	東日本大震災・原子力災害伝承館視察等 原子力災害伝承館(スキップ) 福島ロボットテストフィールド 秋保温泉	福島県双葉町、南相馬市 宮城県仙台市	大臣秘書官 総合政策局公共事業企画調整課長 航空局次長 航空局安全部参事官 観光庁観光地域振興部長 観光庁観光地域振興課長 東北地方整備局長 東北運輸局長 他	福島県知事、南相馬市長、浪江町 長、双葉町長、福島イノベーション・ コースト構想推進機構専務理事他	参議院 公明党 1名	南相馬市議 公明党 1名 相馬市議 公明党 1名
9	9月18日～20日	尾道ポートターミナル視察等 しまなみ海道 今治造船 JR四国観光列車 直島 ベネッセ等 淡路島観光意見交換	愛媛県今治市 香川県丸亀市、高松市	大臣秘書官 道路局審議官 鉄道局次長 鉄道事業課長 海事局長 内航課長 中国地方整備局長 中国運輸局長 四国地方整備局長 四国運輸局長 他	香川県知事、JR四国会長、(株)瀬 戸内クルージング代表取締役、本州 四国高速道路(株)代表取締役社長、 今治市町 直島町長 他	参議院 公明党 1名	
10	9月29日～10月1日	富山県内事業等視察等 立山砂防 宇奈月温泉 黒部ダム 千曲川被災箇所	富山県黒部市 長野県長野市	大臣秘書官 大臣秘書官 水管理・国土保全局長 土砂災害対策室長 観光庁審議官 北陸地方整備局長 北陸信越運輸局長 他	富山県知事、長町市長、黒部市長、 立山町長、長野県知事他	衆議院 公明党 1名	
11	10月7日	明治記念大磯庭園視察、羽田空港視察 大磯明治記念邸園 羽田イノベーションシティ	神奈川県大磯町 東京都大田区	大臣秘書官 都市局長 公園緑地景観課長 都市計画課長 都市計画調査室長 大臣官房技術調査課長 関東地方整備局長 他	大田区長、三井住友銀行理事管理 部長	参議院 公明党 1名	大田区議 公明党 2名
12	10月11日～12日	北海道内事業等視察等 JR北海道各線視察 盤の沢道路、小平防災、中樹林道路	北海道帯広市 北海道富良野市 北海道芦別市 北海道留萌市、小平町 北海道江別市、南幌町	大臣秘書官 大臣秘書官 鉄道局次長 JR担当室長 道路局長 北海道局長 北海道運輸局長 北海道開発局長 北海道開発局建設部道路計画課長 北海道開発局札幌開発建設部長 北海道開発局留萌開発建設部長 他	旭川市長、富良野市長、南富良野 町長、美瑛町長、新得町長、芦別市 長、滝川市長、古冠村長、小平町 長、赤平市長、JR北海道社長他	衆議院 公明党 2名	北海道議 自民党 1名
13	10月18日～19日	中津川市、木曾町及び御嶽山視察等 馬籠宿、妻籠宿、木曾福島宿、観光意見 交換 御嶽山慰霊碑、火山防災 梨子沢、災害復旧現場 丸山ダム(新丸山ダム建設)	岐阜県中津川市 長野県木曾郡南木曾町 長野県木曾町 長野県王滝村 岐阜県加茂郡八百津町	大臣秘書官 観光庁審議官 水管理・国土保全局長 土砂災害対策室長 中部運輸局長 北陸信越運輸局長 中部地方整備局次長 他	長野県副知事、美濃加茂市長、伊 那市長、八百津町長、中津川市長、 王滝村長、恵那市長、瑞浪市長、御 嵩町長、木曾町長 南木曾町長 他	衆議院 自民党 1名	木曾町議 公明党 1名 木曾町議 無所属 1名 南木曾町議 無所属 1名

14	11月8日～9日	観光業界との意見交換会、平城宮跡歴史公園等視察 奈良観光意見交換、平城宮、香芝駅 亀の瀬、安威川ダム	奈良県奈良市 大阪府茨木市	大臣秘書官 大臣秘書官 水管理・国土保全局長 都市局長 観光庁参事官 近畿地方整備局長 近畿運輸局長 公園緑地事業調整官 他	奈良県知事、王寺町長、茨木市長、 大阪府副知事、香芝市長 JR西日 本総合企画本部長 他	参議院 公明党 1名	
15	11月11日	霞ヶ関駅駅差解消視察	東京都千代田区	大臣秘書官 鉄道局長 鉄道局技術審議官 鉄道局技術企画課長 他	東京地下鉄 代表取締役会長 他	衆議院 公明党 1名 参議院 公明党 1名	
16	11月14日～16日	釧路港等視察、観光業界との意見交換会 釧路地方首長意見交換、釧路線、釧路湿 原、摩周湖、川湯温泉、阿寒湖温泉、釧 路港視察 阿寒湖温泉観光意見交換	北海道釧路市	大臣秘書官 北海道局長 大臣官房技術参事官 鉄道事業課長 観光庁審議官 北海道運輸局長 北海道開発局長 他	釧路市長 釧路町長 阿寒湖温泉 旅館組合 組合長 他	衆議院 自民党 1名 衆議院 公明党 1名	北海道議会議員 公明党 1名
17	12月6日～7日	広島豪雨土砂災害緊急砂防事業完成式 出席等 (広島、岡山観光意見交換)	広島県広島市 岡山県岡山市	大臣秘書官 大臣秘書官 水管理・国土保全局砂防部長 中国地方整備局長 中国運輸局長 観光庁観光人材政策参事官 他	岡山県知事、広島県知事 広島市 副市長 他	衆議院 公明党 1名	
18	12月12日～14日	日本沿岸東北自動車道開通式典出席、 意見交換会等 日本海沿岸東北自動車道開通式 能代港視察 青森、秋田、山形観光意見交換	青森県弘前市 秋田県能代市、秋田市、北秋田市 山形県酒田市	大臣秘書官 港湾局長 道路局長 観光庁審議官 観光庁観光資源課長 東北地方整備局長 東北運輸局長 他	青森県知事 秋田県知事、秋田市 長、坂田市長、弘前市長 他	参議院 公明党 1名	
19	1月5日～6日	大谷踏切視察、観光業界との意見交換会 (三重、静岡観光意見交換)	三重県三重市 静岡県静岡市	大臣秘書官 観光庁観光地域振興部長 中部運輸局長 他 大臣秘書官 自動車局長 道路局長 鉄道局長 自動車局安全政策課長 観光庁参事官 観光庁観光地域振興課長 北陸信越運輸局長	三重県知事、津市長、静岡市長、三 重県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長 他	衆議院 公明党 1名	
20	1月15日～16日	軽井沢スキーバス事故慰霊碑献花、観光 業界との意見交換会等 軽井沢スキーバス事故慰霊式 上越降雪状況視察(トキメキ鉄道)	長野県軽井沢町 新潟県上越市	大臣秘書官 自動車局長 道路局長 鉄道局長 自動車局安全政策課長 観光庁参事官 観光庁観光地域振興課長 北陸信越運輸局長	軽井沢町長、軽井沢観光経済課長 上越市長、新潟県知事他	衆議院 自民党 1名 衆議院 公明党 1名	
21	3月6～7日	国道325号阿蘇大橋ルート開通式典出席 等 観光意見交換 熊本駅周辺整備	熊本県南阿蘇村 熊本県熊本市	大臣秘書官 大臣秘書官 国土交通政務官 政務官秘書官 道路局長 都市局長 観光産業課長 九州地方整備局長 九州運輸局長 九州地方整備局道路部長 九州地方整備局建政部長 九州地方整備局熊本復興事務所長 九州運輸局観光部長 九州運輸局国際観光課長 九州運輸局熊本運輸支局長 他	熊本県知事、熊本市長 熊本県経 済同友会 他	衆議院 公明党 1名	熊本市議 公明党 4名

22	3月12～14日	高松港朝日地区複合一貫輸送ターミナル整備事業着工式出席等 ミライD視察 高松港式典 徳島観光意見交換 四国横断道路路視察	香川県高松市 徳島県徳島市	大臣秘書官 港湾局長 観光庁観光資源課長 四国地方整備局長 四国運輸局長 四国地方整備局次長 四国地方整備局道路部長 他	香川県知事、高松市長、小豆島町長、徳島県知事、徳島市長、ミライD社長、四国旅客鉄道(株)代表取締役社長 他	衆議院 公明党 1名 衆議院 自民党 1名	
23	4月9～11日	石川県・福井県内事業等視察等 石川県知事面会 福井県知事面会 北陸新幹線視察 福井県観光意見交換 滋賀県観光意見交換	石川県金沢市 福井県福井市 滋賀県長浜市	大臣秘書官 観光庁観光人材政策参事官 鉄道局長 幹線鉄道課長 大臣官房参事官 北陸信越運輸局長 中部運輸局長 近畿運輸局長 近畿地方整備局長 他	石川県知事、福井県知事、福井市長、滋賀県知事、長浜市長、鉄道・運輸機構副理事長、敦賀市長、公社びわこビジネスビューロー副会長	衆議院 自民党 3名 衆議院 公明党 1名	
24	4月12日	池袋都市開発視察 豊島区事故現場慰霊	東京都豊島区	大臣秘書官 大臣秘書官 総合政策局次長 都市局長 技術審議官(都市局) 審議官(鉄道局) まちづくり推進課長 公園緑地・景観課長 街路交通施設課長 鉄道政策課長 地球環境政策企画官 都市開発金融支援室長 他	豊島区区长、(株)サンシャインシティ代表取締役社長 他	衆議院 公明党 1名	東京都議 公明党 1名 豊島区議 公明党 2名
25	4月15日	新横浜駅視察、新幹線N700S/バリアフリー車両試乗 (N700S新幹線新型車両視察)	新横浜駅～東京駅	大臣秘書官 大臣秘書官 総合政策局次長 鉄道局長 企画室長 鉄道局技術企画課長 他	認定NPO法人DPI日本会議事務局長、JR東海代表取締役社長 他	衆議院 公明党 1名 参議院 公明党 1名	
26	4月18日	都市型ロープウェー視察 横浜海上防災基地視察	神奈川県横浜市	大臣秘書官 大臣秘書官 関東運輸局長 海上保安庁長官 他	泉陽興業(株)代表取締役社長、専務取締役東京支社長 他	参議院 公明党 1名	
27	5月20日	調布市市内連続立体交差事業	東京都調布市	大臣秘書官 大臣秘書官 都市局技術審議官	調布市長、京王電鉄取締役常務執行役員 他	衆議院 公明党 1名	東京都議 公明党 1名 調布市議 自民党 1名 調布市議 公明党 1名
28	5月24日	荒川河川整備事業等	東京島北区、葛飾区、荒川区	大臣秘書官 大臣秘書官 水管理・国土保全局長 流域減災推進室長 関東地方整備局長 他	荒川区長、東京都河川部長 他	衆議院 公明党 1名 参議院 公明党 1名	東京都議 公明党 2名 北区区議 公明党 1名 荒川区議 公明党 1名 公明新聞
29	5月26日	中野区内連続立体交差事業、まちづくり視察	東京都中野区	大臣秘書官 大臣秘書官 都市局長 他	東京都道路建設部長、中野区長 他	衆議院 公明党 1名	東京都議 公明党 1名 中野区議 公明党 8名 公明新聞

令和2年度 無人航空機に係る事故トラブル等の一覧(国土交通省に報告のあったもの)

No.	誕生日	飛行させた者 又は所属団体 等	飛行場所	機体 (種類、特徴等)	事案の概要	航空法上の許 可承認の要否	許可承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
1	2020/4/3	農業関連業者	熊本県菊池市	ヤマハ R-MAX	・空中散布のため無人航空機を飛行させていたところ、電線に接触し損傷させた。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	航空法第132条の2第7号(30m以内)、第9号(危険物)及び第10号(物件投下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 - 航空局整備マニュアルに記載の「補助者を配置する」字句の上空では飛行しない位置で必ず飛行させた。 【是正措置】 - 社内に安全管理者を配置する。事前に飛行計画表を作成し、それに基づいて補助者の配置位置を決める。者と補助者の連絡手段を確保した上で飛行を行う。
2	2020/4/3	空操事業者	福岡県福岡市	DJI Phantom4 Pro	・空操のため無人航空機を飛行させていたところ、電線が接触し機体が墜下した。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	航空法第132条の2第7号(30m以内)、第9号(危険物)及び第10号(物件投下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 - 操縦者の下見をしておらず、操縦むね地形を把握できておらず、不適切な補助員の配置をしていた。 ・飛行エリアの安全管理を怠っていた。 【是正措置】 - 再発防止の教育及び社内規定の改定した。
3	2020/4/15	農業関連業者	愛知県弥富市	ヤマハ FAZER	・空中散布のため無人航空機を飛行させていたところ、鉄柱と倉庫外壁に接触し損傷させた。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	航空法第132条の2第7号(30m以内)、第9号(危険物)及び第10号(物件投下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 - 操縦者の意思と異なる動きが生じた時に適切なコントロールができなかった。 - 操縦者2人がカメラの事前打ち合わせが不十分であった。 【是正措置】 - 飛行計画書とカメラの事前打ち合わせを行う。 - 複数人でチェックする仕組みの強化 - 危険予知感度向上の教育
4	2020/4/16	空操事業者	広島県廿日市市	DJI Phantom4RTK	・空操のため無人航空機を飛行させていたところ、樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	132条の2第7号(30m以内)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 - 操縦者の意思と異なる動きが生じた時に適切なコントロールができなかった。 - 操縦者・補助者の仕組みが明確でなかった。 - ワークスエッチの仕組みになっていなかった。 【是正措置】 - 飛行計画書とカメラの事前打ち合わせを行う。 - 複数人でチェックする仕組みの強化 - 危険予知感度向上の教育
5	2020/4/23	農業関連業者	広島県山県郡	DJI AGRAS MG-1	・空中散布のため無人航空機を飛行させていたところ、民家の屋根の屋根のバツに接触し損傷させた。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	航空法第132条の2第7号(30m以内)、第9号(危険物)及び第10号(物件投下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 - 操縦地点の選定が曖昧だった。 - 操縦者・補助者の仕組みが明確でなかった。 - ワークスエッチの仕組みになっていなかった。 【是正措置】 - 飛行計画書とカメラの事前打ち合わせを行う。 - 複数人でチェックする仕組みの強化 - 危険予知感度向上の教育
6	2020/4/25	事業者	愛知県安城市	DJI社製 INSPIRE2	・操縦させたところ、電柱間の交線に接触し、墜下の際に近隣の民家壁及び車庫に衝突し損傷させた。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	航空法第132条第7号(人口集中地区)、132条の2第6号(自爆物)及び第10号(危険物)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 - 飛行計画書の選定が曖昧だった。 - 操縦者・補助者の仕組みが明確でなかった。 - ワークスエッチの仕組みになっていなかった。 【是正措置】 - 飛行計画書とカメラの事前打ち合わせを行う。 - 複数人でチェックする仕組みの強化 - 危険予知感度向上の教育
7	2020/5/7	個人	静岡県浜松市	ヤマハ発動機株式会社製 YMR-08(LB0-1)	・農業散布作業を実施していたところ、機体操作を誤り電線に接触していた民家の外壁に接触し損傷させた。 ・本件事案による物件負傷あり(民家外壁の接合部30分)、人の負傷はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	132条の2第7号(30m以内)、第9号(危険物)及び第10号(物件投下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 - 飛行計画書の選定が曖昧だった。 - 操縦者・補助者の仕組みが明確でなかった。 - ワークスエッチの仕組みになっていなかった。 【是正措置】 - 飛行計画書とカメラの事前打ち合わせを行う。 - 複数人でチェックする仕組みの強化 - 危険予知感度向上の教育
8	2020/5/8	行政機関	北海道登別市	DJI社製 PHANTOM 4 PRO	・遭難者捜索業務のための飛行(航空法第132条の3に該当する飛行)させていたところ、電波の通信状況が悪化し、帰還操作を行うことができず、山中に紛失した。後日捜索により機体は発見された。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	-	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 - 飛行ルートの変更を照会した結果、飛行ルートに設定していた飛行ルートの一部が誤っていた。 【是正措置】 - 飛行ルートの設定をしたらダブルチェックを実施する。 - 飛行範囲は広範囲とはせず、余裕を持った範囲設定で安全を図る。

No.	発生日 又は所属団 体	飛行場所	機体 (種類、特装等)	事象の概要	航空法上の許 可承認の要否	許可・承認 の有無	当局の対応	報告された原因分析及び是正措置
9	2020/5/18	空操事業者 富山県富山市	DJI製 Matrice300 RTK	・空操のため飛行中、突風に煽られそのまま落下した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	132条の2第7号 (50m以内)	無	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・機体が突風に煽られた際に、操縦者が慌てて操作ミスをした。 ・機体と操縦者、監視者と操縦者との距離が通常以上に離れており、機体の挙動に対して繊細な操作が行えなかった。 ・撮影範囲が広大な業務は初めてであり、操縦者、監視者共に経験が少なかった。 【是正措置】 ・一定範囲で一回以上の突風を感じる場合は飛行を行わない。 ・突風が生じるような場所にはとどまらない。また、そのような場所では、繊細な操作が必要な場合は、操縦者と機体、監視者と監視者の位置をなるべく離さない。 ・通常業務と異なるような状況では、従来よりも監視者や補助者を追加し、配置や伝達方法を十分に検討して飛行させる。
10	2020/5/20	建設事業者 大分県中津市	DJI製 Phantom4 Pro	・飛行訓練のために無人航空機を飛行させていたところ、操作を誤り、樹木に接触し墜落した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	-	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・飛行させる者の経験不足、指導者（作業責任者）の操縦方法、注意事項等の説明不足。 【是正措置】 ・飛行訓練をする際は講習範囲を設定し、その範囲内で講習を行う。 ・事故事例等の把握及び適切な飛行計画の立案を徹底する。 ・緊急時は指導者が操作できるよう、自操縦装置を使用し訓練を行う。
11	2020/5/22	事業者 広島県広島市	DJI製 Mavic Pro Platinum	・学校空撮のために飛行していたが、突如プロペラが折れたこととなり、隣接するマンションの壁に衝突し、マンション9階のベランダに墜落した。 ・近隣マンションの9階ベランダ欄干1枚損傷、窓ガラス1枚キズ ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	航空法第132条 第2号(人口集 中地区)、132条 の2第7号(30m 以内)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・モニター画面が消え操作不能と思い込み不適切な操作をした。 ・無人航空機が飛行経路を外れた際の連射体制が、安全管理者と感えられなかった。 【是正措置】 ・確実に安全担保が取れる場合を除き、完全に有視界飛行が行える場所で操作する。 ・無人航空機を帰還させる訓練飛行を定期的に行う。 ・さらなる安全管理措置をとる。
12	2020/5/24	個人 鳥取県西伯郡	DJI MAVIC 2 PRO	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ樹木に接触させ墜落し粉砕した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	-	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・GPSを頼りに探索するが無人航空機と操縦者が向き別の為発見出来なかった。 【是正措置】 ・目標外飛行になった場合、その時点から「リターン」し、周囲の安全確認を徹底できれば帰還させる。
13	2020/5/26	事業者 新潟県新潟市	ヤンマーV918 トラクター式空 型 AVH-3	・松くい虫防除の薬剤散布作業をしており、薬剤を補充し運搬したところ、操縦不能となり樹木に接触し墜落した。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	132条の2第7号 (30m以内)、第 9号(危険物)及 び第10号(物件 落下)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 【是正措置】
14	2020/5/27	事業者 東京都新宿区	DJI社製 MAVIC 2 ENTERPRISE DUAL	・空撮のため無人航空機を飛行させていたところ、操縦不能となり付近の通行人に接近した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	航空法第132条 第2号(人口集 中地区)、132条 の2第7号(自 動操縦機)及び 第7号(30m以 内)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・事前に機体の飛行経路を設定し自動飛行を実施したが、設定航路が突如出ていた樹木に当たった。 ・離陸点より10 mの高さで水平移動する設定としていたが、急勾配により、上空では地上と機体の高度差が40m程度となった。 ・機体が森林に突いて落下したため、操縦者への連絡が間に合わなかった。 【是正措置】 ・飛行開始前に十分な現地確認を行う。 ・勾配が急な河川上で飛行する場合は、上空側に離陸地点を設定する。また、機体を撮影位置まで上昇させ、周辺の地形、障害物より十分に高い位置を確認する。 ・連絡には、「ドローン」モードを使用することとし、情報伝達を速やかに行うこととする。
15	2020/5/28	個人 福岡県朝倉市	DJI製 PHANTOM 4	・湖風のために自動航行を実施したところ、隣接する斜面に墜落する羽木に衝突した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	不要	-	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 【是正措置】
16	2020/5/30	建設事業者 富山県魚津市	DJI製 Inspire1Pro	・悪気操縦生調査のために飛行していたところ、海上を飛行途中で電波接続が断たれり、墜落、粉砕した。 ・本件事案による人の負傷及び第三者の物件の被害はなかった。 ・なお、操縦者の操縦経験は10時間以上。	132条の2第6号 (自動操縦機)及び 第7号(30m以 内)	有	・原因分析と再発防止策の検討を指示した。	【原因分析】 ・電波障害または船等との接続が考えられる。 【是正措置】 ・海上等の悪気状況が確認できない場所では飛行させない。